

4 月 17 日 (日) に行われた平成 28 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、データベーススペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

## ■データベーススペシャリスト試験 (DB)

[平成 28 年春期のデータベーススペシャリスト試験 統計情報]

応募者	13,980 人
受験者	9,238 人
合格者	1,620 人
合格率	17.5%

平成 28 年春期のデータベーススペシャリスト試験の合格率は 17.5%で、前回の 17.6%とほぼ同じでした。まず始めに、新試験で従来の午前試験が分割された午前 I と午前 II の試験の分析結果をお知らせします。

### (午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

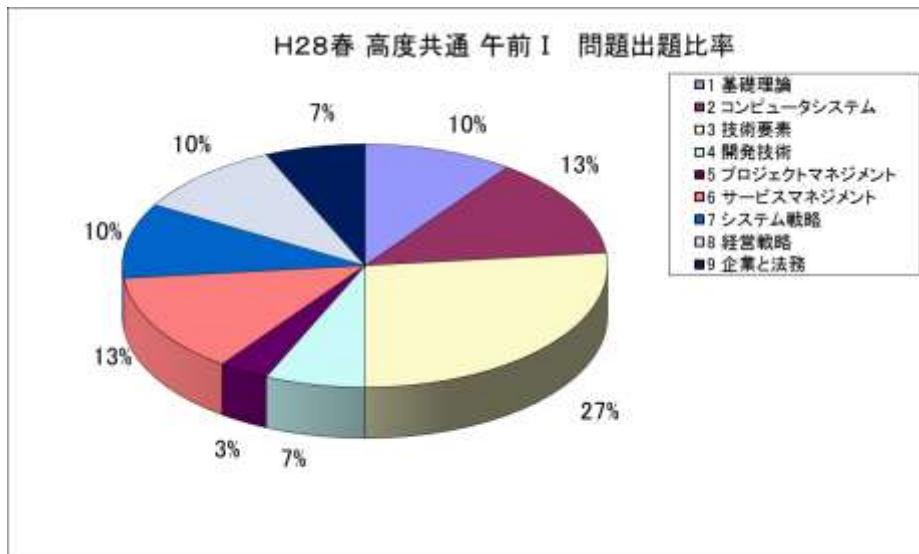
- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。これまで、AP の問題の中でも比較的素直で常識的な問題が選ばれていましたが、基礎理論の計算問題が例年どおり少し難しく、他の分野もこれまであまり出題されていない内容が何問もあり、全体として少し難しく感じられたと思われまます。
- ・過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率といえます。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・新傾向問題は次の 2 問で、従来よりも少ないといえます。

(新傾向問題)

問 5 ライブマイグレーションの概念

問 21 クラウドサービス導入検討プロセスのシステム監査

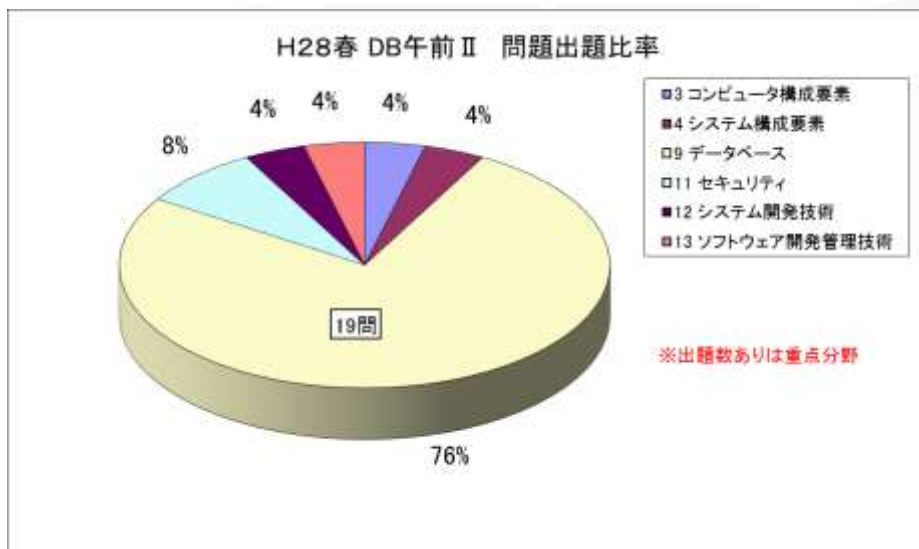
平成 28 年春期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験は繰返し出題される定番問題が多く、データベースの専門知識の出題数は 19 問でした (前回と同じ)。

平成 28 年春期のデータベーススペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



新傾向問題は次のとおりで、前回よりも減っています。また既出問題がやや難しい内容のもので、全体としては少し難しく感じたと思われます。

問 2 B 木構造の格納レコード数

問 4 UML で表記された組織のデータモデル案

問 8 第 1 正規形から第 5 正規形までの正規化

次に、午後 I と午後 II 試験の分析結果をお知らせします。

**(午後試験)**

- ・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。1問あたりの問題文、設問数は前回とほぼ同じでやや多いといえます。受験者負担は相変わらず大きいといえます。
- ・出題内容の特徴としては、問2のデータベースの運用設計の問題がやや難でした。

問1 データベースの設計（駐車場管理システムの再構築） 普通

候補キー，部分関数／推移的関数従属性，第3正規形，関係スキーマの属性・リレーションシップ，利用ポイント管理，削除する属性，関係の具体例

問2 データベースの運用設計（卸売業者の受発注在庫管理システム） やや難

バックアップ取得，ディスク復旧後の回復，バックアップ種類・根拠・理由，対象テーブル，テーブルの回復方法，データ異常発生時の回復運用，バッチプログラムの再実行

問3 RDBMSのセキュリティ（保険会社の営業支援システム） 普通

ビューとロールの設計，SQL文の指定順序，SQL文穴埋め，ビュー指定不可の箇所，テーブル構造，期待結果が得られない例と解決策，アクセス制限実施案の比較

- ・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問2の問題ボリュームがやや減ったとはいえ、全体に解答分量が非常に多く、時間内で解答しきるのは難しい内容といえます。

問1 データベースの物理設計とデータ移行（銀行の顧客情報管理システム） やや難

テーブル定義表の完成，データ所要量，セキュリティ事故と対策，データの暗号化とトレードオフの事象，データ投入順序，データ移行処理方式設計，SQL文の穴埋め，データ移行方法

問2 概念データモデリング（メーカーのアフタサービス業務支援システム） 普通

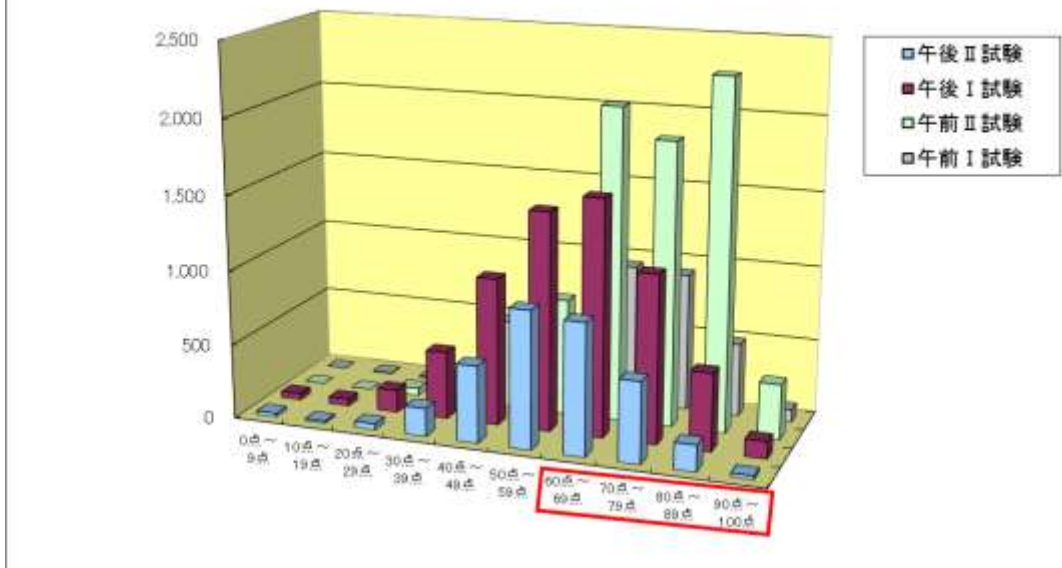
点検結果判断の決定表穴埋め，概念データモデルのエンティティタイプ名・リレーションシップ追加，概念データモデルの完成，関係スキーマに入れる属性名，キーと指定

**(平成28年春 データベーススペシャリスト試験 スコア分布)**

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	43	25	
10点～19点	4	0	48	15	
20点～29点	9	49	152	41	
30点～39点	65	111	454	190	
40点～49点	248	594	986	515	
50点～59点	535	780	1,458	918	
60点～69点	946	2,085	1,575	878	
70点～79点	925	1,889	1,121	540	
80点～89点	490	2,320	520	176	
90点～100点	81	371	118	26	
計	3,303	8,199	6,475	3,324	1,620
対前試験比率		248.2%	79.0%	51.3%	48.7%
午前Ⅰ免除者概算	5,935	64.2%			

合格者数	1,620	採点者数の割	合格者数との
午前Ⅰ60点以上合計	2,442	73.9%	822
午前Ⅱ60点以上合計	6,665	81.3%	5,045
午後Ⅰ60点以上合計	3,334	51.5%	1,714
午後Ⅱ60点以上合計	1,620	48.7%	0

平成28年春データベーススペシャリスト試験 得点分布



新試験制度で春期の試験で午前I試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で5,935人(64.2%)おり、受験者の6割以上の人が午前IIからの受験となりました

得点分布を分析してみると、高度系共通の午前I試験で基準点(60点)以上の人は2,442人(受験者の73.9%)でした。また、午前II試験で基準点以上の人は6,665人(受験者の81.3%)でしたが、前回の試験で60点以上は83.2%でしたので、約8割の人が午前II試験を通過していることとなります。他の高度試験でも同じですが、午前II試験で出題される知識は午後の試験問題を解くための必須知識ですので、確実に学習することが重要です。

午後Iで基準点(60点)以上取れた人は51.5%で、前回の51.3%とほぼ同じです。午後IIで基準点(60点)以上取れた人は48.7%で、前回の49.2%から微減です。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、専門知識分野で「午前試験で出題される知識の理解度をまず上げる」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」のがよいでしょう。

高度系試験は午後試験対策が合格の鍵を握っています。次回の試験対策は早めに始めてください。

### (今回合格された人)

今回見事合格された方で、16 秋期試験で情報セキュリティスペシャリスト・ネットワークスペシャリスト・IT ストラテジスト・システムアーキテクト・IT サービスマネージャの試験合格を目指す方は、午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは各試験の専門分野の基本的な問題（応用情報技術者試験の問題）から解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『スタンダード午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB教材」「WEB テスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『スタンダードコース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

### (今回残念ながら不合格だった人)

まず、午前Ⅰの試験で 50 点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が重要です。時間のない方は、「応用情報・高度共通 午前試験対策」の書籍を活用し出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。

今回の午前Ⅰ・Ⅱ試験の得点が 50 点～59 点だった方は、合格ラインまで“あと一歩”のところまで実力がついていきますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

午後試験の得点が 60 点未満だった方は、まず午前Ⅱの「専門知識」の内容に関して、試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受験するなど、本番を想定した学習を行うのも効果的です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『プラクティスコース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

次回の試験から、情報セキュリティ分野について、午前試験では出題比率がさらに高まり、午後試験ではセキュリティ問題が必須になります。不足している分野の知識に加えて、セキュリティ知識の重点的な対策にコース教材を活用してしっかり補強し、次回合格を勝ち取りましょう。2016 年秋期試験対策の新しい書籍や研修案内については弊社のホームページからご覧ください。

<http://www.itec.co.jp>